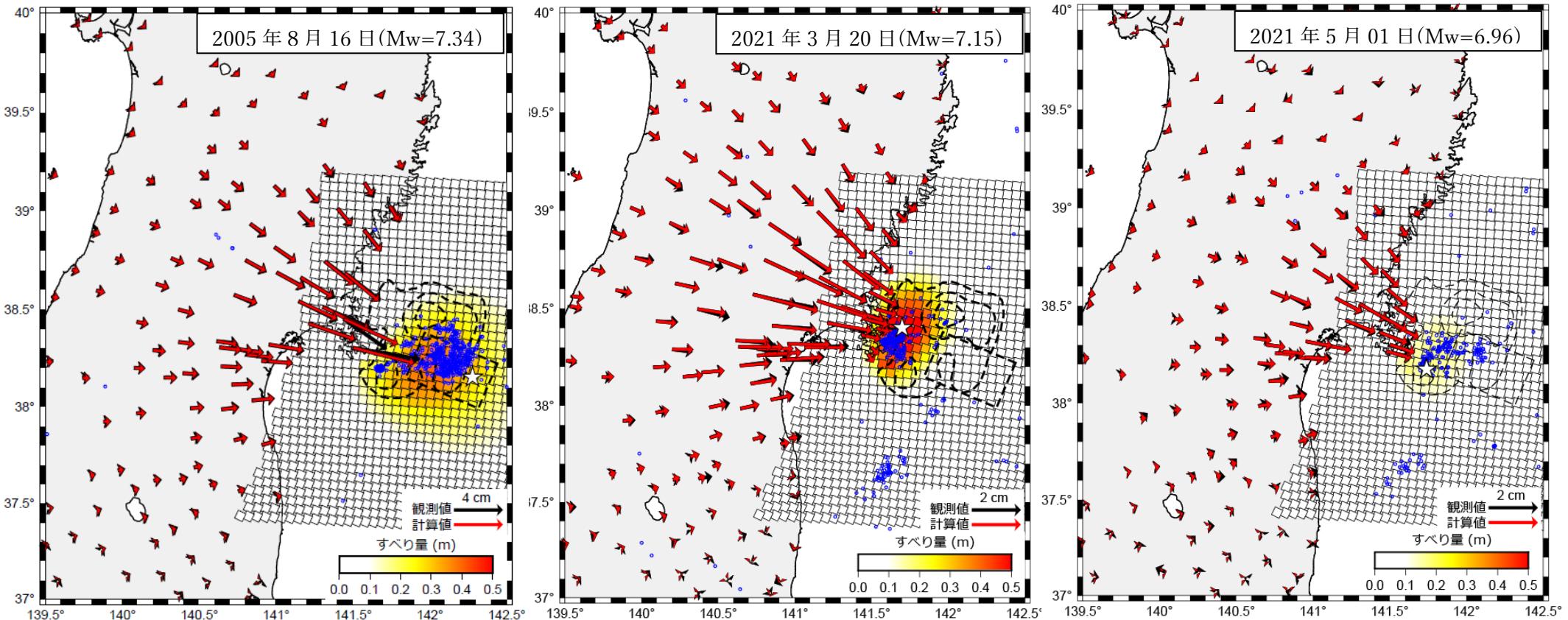


2021年5月1日宮城県沖の地震のすべり分布図

(参考) 2005年8月16日及び2021年3月20日の宮城県沖のすべり分布との比較



等価線は1978年宮城県沖地震のすべり分布 (Yamanaka et al. 2004)。矩形破線は2005年8月16日宮城県沖の地震の震源断層モデル (国土地理院)。

- ・プレート面を5km×5kmの小断層に分割してすべり分布を推定
- ・プレート面はKita et al. (2010, EPSL) および Nakajima and Hasegawa (2006, GRL) による
- ・ラプラシアン平滑化を採用し、ハイパーパラメータはABICにより決定
- ・ M_w の計算においては、剛性率を60 GPaと仮定
- ・☆印は震央、青丸は余震の震源を表す (気象庁一元化震源を使用)